

松江東高校魅力化 ニュースレター

vol.14
2021.3.22

NEXT STAGEが始動しました！

3月16日、あいにくの雨模様でしたが「NEXT STAGE」の成果発表会が松江テルサで行われました。「NEXT STAGE」とは、松江東高校の3年生2名（32R 菊川君、34R 野津君）が企画した「課題探究型ワークショップ」です。市内7校から21名の生徒が集まり、（株）エブリプランが提示した課題に取り組みました。エブリプラン社員による採点で1位になったグループは、「産直市の販売促進」について考え、地元産の野菜を使ったケーキの販売や会員制交流サイトでの広告掲示といったアイデアが出ました。

参加者たちは、短い準備期間の中でエブリプランの社員からのアドバイスを受けながら

課題の抽出や解決策の提案に取り組み、社会に出てから活躍するために必要な力を磨き、それぞれ達成感を得たようでした。

また、今回の企画を通じてできた他校の生徒や大人とのつながりは参加した生徒にとって貴重な財産になるのではないのでしょうか。



東高カフェの開催

2月25日に第4回となる東高カフェを開催しました。今回は、ゲストに中国地方をメインフィールドに活動されている「中国山地編集舎」の皆さんをお迎えしました。

中国山地編集舎の皆さんからは、人生曲線を用いた自身の人生についてのお話に加えて、現在中山間地域で起きている田園回帰の動きについてや、それぞれの地域で行われている取組などについてお話をいただきました。

探究型学習を通じて「地域」への興味が高まっていた生徒からは、次々に質問が飛び出し、終了後に実施したアンケートには、「次は自分たちが持続可能な社会をつくってきたい」など頼もしいコメントもみられました。

また今回の東高カフェは、オンライン開催でしたが、非常にスムーズに運営をすることができました。今後は、オンラインも活用しながら、東高生と大人が関わる機会を作っていこうと思います。ご協力いただいた中国山地編集舎様、ありがとうございました！



学校地域WIN-WINプロジェクト

3月10日に埼玉県教育委員会主催の「学校地域WIN-WINプロジェクト」成果発表会が開催され、本校の1年生3人が参加しました。「コロナによる休校期間の授業の遅れを授業時間の調整により2カ月程度の休みを設けることができ、その期間をインターシップ等の活動にあてる」といった提案をし、他校の教員や生徒の方々から

「発想が素晴らしい」、「コロナがあったからこそその気づきだ」などの言葉をいただき、発表した生徒たちは達成感を感じているようでした。



発行者

魅力化コンソーシアムマネージャー
藤山 楓生（ふじやま かい）



最近サウナにはまっています。体調管理にもなるので、皆さんにもおすすめですよ～